

新宮川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/30規模降雨) 【現況河道】



凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 10.0～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

緑線 氾濫シミュレーション計算範囲

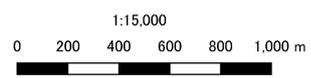
赤線 市町境界

灰色 河川等範囲

赤線+矢印 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報

赤線+矢印 河川および水位周知河川

1. 説明文
- (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2)この浸水想定図は、現況の熊野川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水による熊野川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3)このシミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまでも一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 - (4)この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
2. 基本事項等
別紙2参照
※この多段階の浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



別紙2

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月30日	
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省近畿地方整備局 ・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、市田川	
(3)	実施区間 「国管理河川のみを記載、他河川は付図参照」	【紀南河川国道事務所】 新宮川水系熊野川	左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野199番地の1地先から海まで 右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ527番地の1地先から海まで
		新宮川水系市田川	左岸:和歌山県新宮市新宮字下田4259番地先の市道橋から熊野川合流点まで 右岸:和歌山県新宮市新宮字下田4529番地先の市道橋から熊野川合流点まで
(4)	算出の前提となる降雨	新宮川水系熊野川(直轄区間)	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間の総雨量468mm)
		新宮川水系市田川(直轄区間)	年超過確率1/30(対象河川流域の1時間の総雨量99mm)
		新宮川水系市田川・浮島川	年超過確率1/30(対象河川流域の8時間の総雨量169mm)
		その他河川及び下水道等(熊野川右岸側)	年超過確率1/30(対象河川流域の8時間の総雨量169mm)
(5)	河道条件	熊野川、市田川、浮島川、射矢の谷川、西鴻田川、東鴻田川:現況	
(6)	下水道等条件	<ul style="list-style-type: none"> ・施設条件:現況 ・その他の計算条件等:このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 :下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 :排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定 	
(7)	関係市町	新宮市	
(8)	その他計算条件等	<p>①この図は、対象となる主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。</p> <p>②この図は、対象となる熊野川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。</p> <p>③氾濫計算は、対象区間をおよそ25mまたは5m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。</p> <p>④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。</p> <p>⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。</p> <p>⑥この図は、熊野川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲のうち熊野川流域を対象として作成しています。</p> <p>なお、解析モデルの設定にあたり、熊野川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲以外もモデル化・図化している場合があります。</p>	